

浜岡原子力発電所5号機 タービン主油タンクレベルの低下について（続報）

平成 20 年 2 月 19 日

【本日お知らせする内容】

点検について

明日(2月20日)より、隔離中の油冷却器(B)の点検を開始します。
点検結果については、あらためてお知らせいたします。

【平成20年2月4日にお知らせした内容】

発生号機

5号機(定格熱出力一定運転中)
:改良型沸騰水型、定格電気出力126.7万キロワット

発生年月日

平成20年2月4日

発生時の状況

午前6時18分に、タービンや発電機の軸受けに供給する潤滑油を貯蔵するタンク(主油タンク)の油面低下を示す警報が点灯しました。
関連する機器の確認を行ったところ、タービン機器冷却水系(※1)タンクの水位が上昇していることを確認しました。
このことから、午前11時13分に油をタービン機器冷却水との熱交換により冷却していた油冷却器(B)を停止・隔離し、待機中の油冷却器(A)へ切り替えを実施したところ、主油タンクの油面低下およびタービン機器冷却水系タンクの水位上昇が止まりました。

原因

油冷却器(B)内部で損傷が発生し、圧力の違いにより、油がタービン機器冷却水系へ流れ込んだものと推定しています。
本事象によるプラント運転への影響はありませんが、今後、関連する機器の監視を行います。

放射能の影響

本事象による外部への放射能の影響はありませんでした。

[お知らせ基準](#)

運転情報

「表2-20 その他の事象であって、公表が望ましいと判断したもの。」に該当します。

※1 タービン機器冷却水系は、タービン系の機器(ポンプ、モータ、熱交換器等)に冷却水を供給する設備です。

以上

タービン潤滑油系統概略図

